

213.脳卒中を含む循環器病対策の評価指標に基づく急性期医療体制の構築に関する研究

Close The Gap-Stroke J-ASPECT Study

研究の概要

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究の目的

本研究の目標は、

- 1)我が国の診療実態に適合し、かつ国際比較が可能な、脳卒中を含む循環器疾患の医療の質を的確に計測しうるQIを開発・評価すること
- 2)策定したQIに基づく適切なベンチマーキングの手法を開発・評価すること
- 3)未整備な回復期リハビリテーションや維持期の介護・廃用症候群防止等の標準的治療の確立に資するQIを策定すること
- 4)本邦の脳卒中、急性循環器疾患の救急搬送の実態を検証すること
- 5)脳卒中の予後の改善に向けたボトルネックがどこに存在するかを、継続的に検討するフィードバックを行うことを目標とします。QIの評価に関しては、アウトカム指標（入院中の死亡率など）に対するプロセス指標(QIの遵守率)の影響を、ロジスティックモデルにより解析します。

対象となる方

2020年4月1日～2022年3月31日の間に急性期脳梗塞を発症し、t-PA静注療法、血栓回収療法を実施された方

利用する診療情報

診療情報上の主傷病名、入院契機傷病名、もしくは診療報酬明細書上の傷病名、年齢、性別、入院日、既往歴、脳卒中に関連した診療行為及び時間経過、予後など。本研究の研究内容、参加施設名、患者さん向けの資料などにつきましては、[研究班ホームページ \(J-ASPECT Study\)](#)にて随時公開しております。

外部機関への研究データの提供

上記の診療情報を、次の研究機関と共有して、共同で研究を進めます。取得された診療情報を業務委託先である健康保険医療情報総合研究所(PRRISM)で集積し、必要な情報を抽出した解析用データセットを作成し、研究責任者および分担研究者に配布いたします。

提供先機関の名称

国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター

研究責任者の氏名

国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二

研究実施期間

研究許可日より2024年4月30日まで（予定）

個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、個人が特定できる情報を使用することはありません。

本研究で得られた臨床情報およびその抽出口ジックを将来、脳卒中や循環器疾患の研究のために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。同意取得の手続きとしては、オプトアウトの機会を設ける場合があります。オプトアウト文書は[国立循環器病研究センター公式サイト](#)の『実施中の臨床研究』のページに公開いたします。

研究代表者

国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 脳神経外科 中川隆志

問い合わせ先

国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二 電話06-6170-1069（代表）

国立病院機構熊本医療センター脳神経外科部長 中川隆志 電話096-353-6501（代表）

ホームページ

*J-ASPECT研究

本研究の研究内容、参加施設名、患者さん向けの資料などにつきましては、[研究班ホームページ \(J-ASPECT Study\)](#)にて随時公開しております。